

「書は、人なり」

みなさん、おはようございます。昨日は雪が積もりましたね。雪だるまを作った人もいるでしょうか。

昨日はミラノ・コルティナオリンピックで、日本の選手が大活躍しました。スノーボード・ビッグエアでは、日本選手がワンツーフィニッシュを決め、金メダルを木村選手、銀メダルを木俣選手が獲得しました。また、女子ジャンプでは丸山選手が銅メダルを獲りました。応援のしがいがありますね。ただ、イタリアと日本の時差は 8 時間あるので、毎日が眠くなってしまうそうです。

さて、校内には書き初めが掲示されています。昔から「書は、人なり」といわれ、書かれた文字から、その人の人柄や性格をうかがってきました。「字を書くということは、その人の心を書くことと同じである」とも言われています。書き初めの文字には、その人の心が表れています。ハネ、トメ、ハライ、そして太さや向き、かすれ具合まで、一人一人違います。優しい文字、力強い文字があり、まったく同じ文字を書く人は誰一人いません。これが、文字にその人の「味」が表れるということだと思います。ぜひ、友達の文字も、そんな目で見てみてください。

そして今日から、文字に気持ちをこめて、丁寧に書くことを意識していきましょう。テストで書く名前、ノートに書く文字など、文字を書く場面はたくさんあります。

今週から学校公開が始まります。土曜日の生活科・総合的な学習の時間の発表もありますね。ぜひ、がんばってください。